

居宅生活訓練事業の取り組み

～地域移行の願いを叶えるために～

みつぎ清風園 野村 幸枝



▲苦手の掃除も頑張っています

居宅生活訓練事業は、みつぎ清風園の利用者さんが円滑に地域移行できるように、居宅生活に近い環境で自立訓練を行うものです。現在、近隣の民間アパートを借りて実施しています。調理や買い物などの生活実習、園外作業などの就労実習を行いながら、住まいや就労先の見学および体験利用を通して移行先を検討していくというものです。

昨年度は一年間の訓練期間を通して3名の利用者さんが地域移行しました。生活の場は市営住宅やグループホームなどで、日中の就労先は障害福祉サービスの利用や一般企業です。いずれもご本人の希望や能力に応じて調整しています。

一番大変だったことは住居の確保でした。当施設の利用者さんは、身元引受人や保証人がいない方が多くいます。アパートなどで自立生活できる能力が十分あっても、賃貸契約ができないケースがありました。

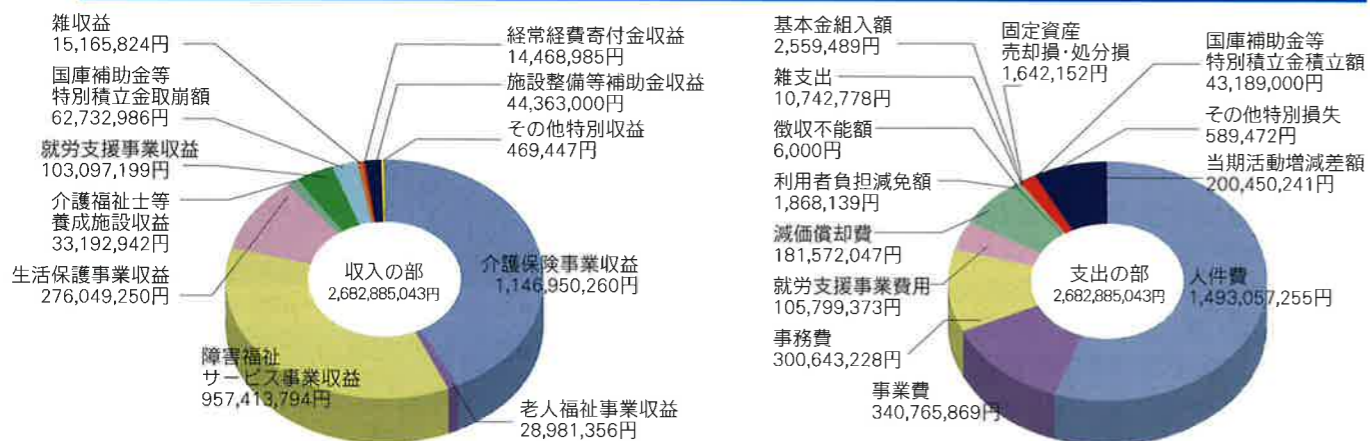
そのような課題を乗り越え、福祉事務所、障害福祉サービス事業所、そして当施設の職員を含めた多職種連携により、無事に全員の移行先が決まりました。利用者さんからは「いつか介護の仕事に就けるよう頑張りたい」「自分の車を買って姪をドライブに連れて行きたい」という前向きな声もあり、職員にとっても達成感のある事業です。

今年度は新たに2名の利用者さんがこの事業に取り組んでいます。昨年度と同じく山あり谷ありますが、この事業を通じて職員もともに成長し、利用者さんの願いである地域移行の実現を目指しています。



▲大好きなお米を炊く準備中

2017年度 尾道さつき会収支状況



ご支援ありがとうございました

7月の西日本豪雨災害で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

断水中には各方面から給水活動や物資等の温かいご支援を賜りました。心からお礼申し上げますとともに、被災地域の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

寄付者一覧

(2018年5月～2018年8月・順不同・敬称略)

<寄付金> 万福寺仏教婦人会
<寄付物品> ダスキンタカハラ 清水ミシェル・アイズマン 岩本光平

編集後記

尾道出身バンド、ポルノグラフィティのライブに行ってきました。

西日本を襲った豪雨災害。ふるさとに何ができるか悩んだ末、予定通りライブを実施されたそうです。パワーをもらえました。(S.S)



第63号
平成30年10月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com

放課後等デイサービス事業所 「あい・ぽーと」開所

～「やったらできた!」の実感を自信につなげる～

放課後等デイサービスあい・ぽーと 岩本 宏香



▲専門学校の一室を会場にしています

10月1日から、尾道福祉専門学校の一室に「放課後等デイサービスあい・ぽーと」を開所しました。定員は10名で小学1年生から高校3年生を対象としています。地域課題の一つに挙がっている放課後等デイサービス事業の受け皿不足解消への取り組みです。

「あい・ぽーと」の「あい」は、児童発達支援センターあいあいの意、「ぽーと」は尾道の特色である港を表しており、みんなが集まり、また出発できる意味を持っています。学習の困難さを抱える子どもに対する支援のニーズが高まっている中で、地域に根付いた事業所になることを目指します。

事業所の特色は子どもたちの個々の発達状況に沿った学習支援および療育支援を行っています。意欲や自己肯定感を高め、安心できる居場所作りを提供します。また、子どもたちが目で見て、耳で聴いて、手で触って、その他さまざまな「感覚に働きかける」教材を活用して、あらゆる面から興味を膨らませながら楽しく学習を進めていけるように支援をします。

また、個別指導や少人数での療育も行っており、職員や友だちと一緒に楽しい場面を共有する中で対人関係を深めていきます。あわせて子どもたちが何につまずいて困っているかを保護者の方と共通理解していくために、取り組み内容の説明や実施状況の報告を行い、個別懇談や学習会等を実施していく予定です。

「あい・ぽーと」が大切にしていきたい事は、安心できる環境の中で自分の力が発揮できることです。「やればできる」ではなく、「やったらできた」という実感が自信となって、次へのステップに踏み出せるような取り組みをすることです。子どもたちと一緒に、一步一步成長し続ける事業所でありたいと思います。



▲ボードゲームを用いた学習支援

新しい職員採用のカタチ

～スタディーツアーを開催～ 総務課 川口 達也

今年度、新しい採用手法としてスタディーツアーを8月22日から3日間にわたり開催し、9名の学生が参加しました。企画立案型のインターンシップを「スタディーツアー」と名付け、今年のテーマは「障害者が作った商品をビジネスに変えよ」でした。

従来型の就業体験だけでなく、尾道さつき作業所のチョコレート



▲さつき作業所でチョコレートづくりの体験

の宣伝販売方法の企画や、むかいしま作業所のさをり織りを活用した新商品の企画などを行いました。また、直接的な利用者支援だけでなく、経済的な自立を目的とした利用者支援について学ぶ場も設けました。

参加した学生からは「スタディーツアーに参加し高齢者福祉だけでなく、障害者福祉にも興味を持てた」「障害者施設で作られている商品を知ることによって視野が広がった」「私たちが考えた企画が実現したらうれしい」などの感想が寄せられました。

インターンシップの重要性が上がってきているなかで、就業体験を通して福祉事業に理解が深まればと考えています。



▲グループに分かれて企画立案する学生たち

自宅で自分らしく生活

～理学療法士による個別リハビリを実施～ デイサービスセンター星の里 金野 弘和

デイサービスセンター星の里では、5月から理学療法士（PT）によるリハビリプログラムを取り入れています。在宅で生活されている利用者さんにとって、「自分の足で動ける」「身の回りのことができる」ことは、自宅で暮らし続けていくために必要な能力です。PTから、その中でも最も重要なのは「自分でトイレに行けること」だと助言を受けました。

そこで、まず利用者さんごとに排泄動作の評価を行いました。その上でそれぞれの家屋環境や本人のリハビリ意欲などと照らし合わせ、優先度が高い人からPTによるアセスメントを実施し、

個別のリハビリメニューを作成しました。そのメニューを職員と一緒に取り組むことで、下肢筋力の向上を目指し、一日でも長く在宅生活が送れるよう励んでいます。また、1ヶ月から3ヶ月ごとにPTによる評価面接を実施します。状態に合わせたメニューの最適化を行い、身体に大きな負担をかけることなく効果的な運動を続けることができるシステムになっています。

現在このプログラムに取り組んでおられる利用者さんは31名です。みなさんがいつまでも自宅で自分らしい生活ができるよう、少しでもお手伝いができればと思っています。



▲PTが足の状態や痛みの箇所を確認



▲平衡感覚をきたえるためのクッションをまたぐ訓練

シリーズ

JOY CHANGE

たのしく転職

すだちの家 風間 未帆

Q1 東京農業大学を卒業したということですが、どうして尾道さつき会で働くことになったのですか？

東京農業大学 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科を卒業しました。

大学までずっと実家（千葉）住まいで、一人の力で暮らしたいという思いがありました。寒いところは苦手なので、南を目指して就職活動をしていました。大学の頃に東京で「移住イベント」に足を運んだ際に尾道が候補の一つになりました。

また、祖母が入院したことがきっかけで身近に福祉とのつながりがあり、人に寄り添う福祉業界にも少しだけ興味を持っていました。何社か受ける中でさつき会から内定を得て、「福祉を知らない私でも何か役に立てることがあるのだろう」と細かいことは気にせず尾道での生活を決めました。

あとは、尾道さつき会の年間休日の多さに惹かれて就職を決めました（笑）。

Q2 就職して2年、今の気持ちはいかがですか？

現在は水耕栽培事業を担当しており、利用者の皆さんとハウレン草の収穫や調整の作業をしています。

障害に関して全然勉強していなかったのですが、目の前のことで精いっぱいです。たくさん頭を打たれることがあります。あせらず、まずは「福祉のフィールドを知る」ということなのかなと考えています。利用者さんの行動を観てどのような予見が立てられるか、どのような支援につなげていけばいいのかが皆さんの気づく力に圧倒されながらもついていけるよう仕事に臨んでいます。これからも消費者に美味しいハウレン草をお届けできるよう頑張ります！

Q3 福祉の職場へ入職や転職を考えている人に伝えたいことは？

農大卒で福祉を知らない私でも力になれることがあります。悩んでいる方も細かいことは考えず、とりあえず飛び込んでみようという気持ちでの入職もいいのではないのでしょうか。



おいしいハウレン草が収穫できました

2019どんぐり工房カレンダー販売中

～独自の感性で世界をとらえた26作品～

ワークス さつき 三吉 福乃

尾道市立大学美術学科と共同で、「2019どんぐり工房カレンダー」を制作しました。テーマは「Dream Art」です。尾道さつき作業所、尾道サンホーム、すだちの家、むかいしま作業所の利用者さんの作品を厳選しました。選ばれた26作品は、独自の感性で世界をとらえた作品です。それは夢の世界のように、常識にとらわれない新しい表現に満ちています。

書き込みしやすいメモ欄や六曜の表示など、実用性に優れています。卓上カレンダーはこれまでより少し大きいB6サイズに変更し書き込むスペースが広がりました。

卓上カレンダーとセットで、税込1,000円です。10月から販売を開始しています。必要に応じて宅配や郵送も承ります。



▲約300点の作品から選定中

連絡先：尾道さつき作業所
TEL 0848-23-8004

尾道さつき会の取り組み ～広島県働き方改革実践企業に認定～

この度「広島県働き方改革実践企業」に認定されました。「広島県働き方改革実践企業」とは県内企業の働き方改革の取り組みを推進するため、広島県商工会議所連合会及び広島県商工会連合会が創設したものです。

尾道さつき会では、トヨタ式カイゼン活動を導入し業務負担の軽減及び生産性の向上を図っています。また、人材育成、育児しやすい労働環境の整備、女性活躍、有給休暇取得率などが評価され、認定されました。

